

MAXZEN

フードプロセッサー

取扱説明書

品番 MFP20MT01

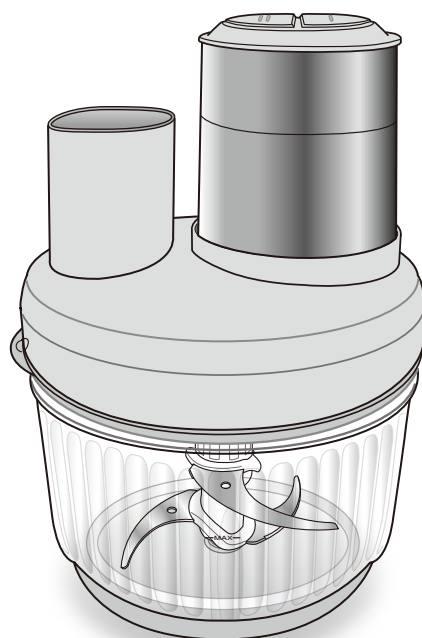
もくじ

ページ

安全上のご注意	P1~3
使用上のご注意	P4
各部のなまえ	P5
チョッパーの組み立て・分解のしかた	P6
①使いかた [チョッパー]	P7~8
調理する	P9~10
②使いかた [スライス/千切りプレート]	P11~12
調理する	P13~14
③使いかた [ホイッププレート]	P15~16
調理する	P17~18
お手入れのしかた	P19~20
故障かな?と思ったら	P21
製品仕様	P22
別売品	P23

日本国内専用

一般家庭用



このたびは「フードプロセッサー」をお買い上げいただきありがとうございます。

この取扱説明書は、本製品使用上の注意事項および警告事項について詳しく記載しています。本製品をご使用前には必ずこの取扱説明書をよくお読みになり、内容を十分に理解されたうえで事故が起これぬように記載内容に従って正しくご使用ください。本製品は一般家庭用に開発された製品です。

事故や故障の原因になりますので、業務用としては絶対に使用しないでください。また、一度お読みになったあとも必要時にいつでも確認ができるように、すぐに取り出せる場所へ大切に保管してください。製品改良のため、予告なしにデザイン・仕様を一部変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

安全上のご注意

必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、安全に関する内容を記載しています。内容をよく理解して記載事項をお守りください。



警告

人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。



注意

人が重傷を負う可能性および物的損害の発生が想定される内容を示します。

絵表示の例



記号は、「禁止」(しないでください)を示します。



記号は、「強制」(必ずしてください)を示します。

安全にご使用いただくために

- ①取扱説明書に記載されていない方法や、用途以外の目的でのご使用は、事故やけがの原因になります。絶対におやめください。
- ②お客様の不注意による破損・けがに対する責任は負いかねますのでご了承ください。
- ③故障していたり、故障と思われる場合は、ご使用にならないでください。
- ④取扱説明書のガイドライン、指示が守られない場合は、弊社は一切の責任を負いかねます。
- ⑤本製品はおもちゃではありません。お子様のご使用は避けてください。

警告



分解禁止

絶対に改造、分解、修理をおこなわない

- 火災や感電、けがの原因になります。
- ※修理はお買い上げの販売店にてご相談ください。



ぬれ手禁止

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししたり、操作ボタンを触らない

- 感電やけがのおそれがあります。

業務用や食材の調理
以外に使用しない

一般家庭用

日本国内専用

コンセントや配線器具の定格を超える使いかた（エアコン、冷蔵庫、電子レンジなどの大きな電力を使う機器と併用するたこ足配線）や交流 100V 以外では使わない

- たこ足配線などで定格を超えると発熱し、発火の原因になるとともに、接続している機器が損傷するおそれがあります。



水ぬれ禁止

水や蒸気が本体にかかる場所、水にぬれた場所、湿気の多い場所に設置しない

- ショート、感電、火災の原因になります。

本体に水をかけたり、水に浸けたり、丸洗いは絶対にしない

- 内部に浸水して火災や感電、漏電の原因になります。



禁止

電源コードを束ねたまま使用したり、引っ張ったり、無理に曲げたり、ねじったり、重いものをのせたり、傷付けたり、高温部に近づけたり、加工したり、はさみ込んだりしない

- 傷んだまま使用すると感電や故障・発熱・発火で火災の原因になります。

電源プラグや電源コードが傷んでいたり、差し込みのゆるいコンセントは使わない

- 感電やショート、発火のおそれがあります。

電源コードの上に重いものや容器をのせたりしない

- ショート・感電・火災の原因になります。



接触禁止

チョッパー刃、スライスプレート刃、千切りプレート刃は鋭利なので、直接手で触れない

- けがの原因になります。



禁止

電源コードを引っ張って電源プラグを抜いたり、本体を引っ張らない

- ショート・感電・火災・故障の原因になります。

子供や取り扱いに不慣れな方だけの使用は絶対にしない

- けがの原因になります。

乳幼児の手の届く所での使用・保管をしない

また、おもちゃとして絶対に使わせない

- けがの原因になります。

警告



禁止

すき間や穴に金属製の異物を入れない
●感電・ショート、けがの原因になります。

操作ボタンを押しながら、電源プラグをコンセントに差し込まない
●本体が外れて落下したりして、故障・破損
けがの原因になります。

火気や熱源（コンロや暖房器具など）の近くや上に設置しない
●変形・火災の原因になります。

可燃性ガスや引火性のもの（ガソリン・シンナーなど）がある場所に設置しない
●爆発・火災の原因になります。

油、油煙、金属粉が発生する厨房や場所、ほこりの多い場所に設置しない
●破損・感電・火災の原因になります。

直射日光の当たる場所や高温になる場所に設置したり、放置しない
●変色・変形の原因になります。

運転中に持ち運んだり、移動しない
●本体が外れて落下したりして、故障・破損
けがの原因になります。

落としたり、強い衝撃を与えない
●破損・故障・けがの原因になります。

スライス / 千切りプレートの回転中に投入口に食材以外の物を差し込まない
●故障・けがの原因になります。

運転が停止するまでスプーンや箸など食材以外のものを容器に入れない
●破損・故障・けがの原因になります。

運転が停止するまでは、本体や蓋を取り外さない
●破損・故障・けがの原因になります。



必ず守る

電源プラグを抜き差しするときは、必ず運転を停止してからおこなう
●故障・けがの原因になります。

電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らずに電源プラグ部分を持って抜く
●ショート・感電・火災の原因になります。

本体を取り付けたり、取り外すときは必ずコンセントから電源プラグを抜く
●けがの原因になります。

安定した平らな場所に設置する
●転倒や落下して、破損・故障・けがの原因になります。

スライス / 千切りプレート、チョッパー、ホイッププレートなど、各部品の取り付けは確実におこなう
●食材が漏れたり、故障・けがの原因になります。

チョッパー使用時に調理物を取り出すときは容器からチョッパーを取り外しておこなう
●けがの原因になります。

チョッパーを取り外すときは、必ずチョッパー軸の上部を持っておこなう
●けがの原因になります。

お手入れの際は、必ず電源プラグをコンセントから抜く
●けが・ショート・感電の原因になります。

お手入れの際は、必ずゴム手袋や軍手を着用する
●けがの原因になります。

定格使用時間（約 1 分間）を守る
●チョッパー・スライス / 千切りプレート：約 1 分間
●ホイッププレート：約 2 分間
●故障の原因になります。

運転した時間の合計が 1 分または 2 分になったら、15 分以上運転を休止させてください。15 分以上休止させずに運転を続けると、モーターが過熱して運転ができなくなる場合があります。

注意



禁止

空運転や最低容量以下など、極端に少ない食材で運転しない

●うまく調理できなかつたり、故障の原因になります。

食材や調理物を容器に入れたまま、長時間放置したり、保存しない

●変色・破損の原因になります。

50℃以上の熱い食材を容器に入れない

●吹きこぼれや、変色・変形・破損の原因になります。

容器を保存容器として使用しない

●変色の原因になります。

容器や蓋などの各種部品（付属品）をレンジやオーブンレンジで使用しない

●変形・破損・けがの原因になります。

容器や蓋などの各種部品（付属品）を冷凍庫に入れない

●急激な温度変化を与えると、破損の原因になります。

チョッパー軸、プレート軸、軸受けピンに水分・食材・調理物が付着したまま使用しない

●拭き取らないまま使用すると、適正な位置にはまらなかつたり、故障の原因になります。

容器や蓋などの各種部品（付属品）を食器洗い乾燥器で洗ったり、食器乾燥機で乾燥させない

●変色・変形・破損の原因になります。

50℃以上のお湯で洗わない

●変色・変形・破損の原因になります。

掃除用、整髪用、殺虫剤などのスプレーを吹き付けない

●変色・変形・破損の原因になります。

シンナー・ベンジン・漂白剤・みがき粉・たわしやスポンジの研磨面を使用してお手入れをしない

●キズ・変色・変形の原因になります。

19.20ページ参照



必ず守る

チョッパーを取り付ける前に食材を入れない

●ブレードが浮いた状態になり、運転できません。

うなるような運転音がしたり、チョッパー・スライス / 千切りプレート・ホイッププレートなどの回転が遅かつたり、停止したときには、ただちに運転ボタンから手を離し、運転を停止してコンセントから電源プラグを抜く

●故障・けがの原因になります。

・調理禁止食材を調理しない

4ページ参照

・MAX以上の食材を入れて調理しない

5ページ参照

運転するときは、上蓋を手でしっかり持つ

●食材がこぼれたり、破損・けがの原因になります。

柑橘類の皮を調理しない

●変色・変質・破損の原因になります。

調理物を取り出すときは手を使わず、スパチュラやスプーン・箸などを使用する

●けがの原因になります。

最低容量・最大容量を守って使用する

●うまく調理できなかつたり、故障の原因になります。

使用後は毎回お手入れをする

●食材や調理物が残ったままにすると、においが取れなくなつたり、変色・破損の原因になります。

使用上のお願い

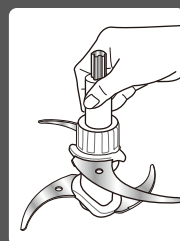
■本製品は、スライス / 千切りプレート・チョッパー・ホイッププレートの3つのアタッチメントを使い分けて、スライス、千切り、みじん切り、ペースト、ホイップクリームなどの下ごしらえをするフードプロセッサーです。

【注】ミキサーやミルではありませんので、水分と攪拌してジュースを作ったり、食材を粉碎するなどの用途には使用しないでください。

●調理内容に合わせた本体以外の各部品を使用前に洗ってください。

⊘ 本体の水洗いは絶対にしない

●チョッパーの刃は鋭利なので、カバー着脱の際や容器に取り付け・取り外しの際は、刃に直接手で触れないようにしてください。必ずチョッパー軸の上部を持っておこなってください。
使用時以外は、刃にカバー（付属）を取り付けてください。



- 業務用に使用しないでください。故障の原因になります。
- 空運転をしないでください。故障の原因になります。
- 冷凍した材料・かたい材料・かくはんで膨張する材料などは入れないでください。付属のアタッチメントの破損や液漏れの原因になります。
- 本体や容器を落とさないでください。故障や破損の原因になります。
- 平らで安定した場所に設置し、使用時には本体を手で押さえて操作をおこなってください。

⊘ 禁止材料・禁止条件について ・禁止材料を入れると故障・破損・けがの原因になります。

■かたい物 氷・ドライアイス・冷凍した食材（野菜、果物）・乾燥大豆・生大豆・うどん・穀類・乾燥したパン・昆布・干物・するめ・かたい種（桃、柿、プラムなど）
氷砂糖・黒砂糖（かたまり）・乾物類（じゃこ、干しエビなど）
コーヒー豆・ナッツ類（ピーナッツ、くるみなど油が出るもの）

■粘りけの強い物・水分の少ない物 さつまいも・茹でたジャガイモ・長芋類・もち・肉のすり身・アロエ・水飴・ジャム・ドライフルーツ

■膨張する物 パン生地など

■ペースト状の食事 介護食や離乳食・水分を加えない野菜ペースト

■繊維や筋の多い物 すじの多い肉など・たくあんなど

■柑橘類の皮（レモン、ゆずなど / リモネン成分を含む物）

■50℃以上の熱い材料など

お願い

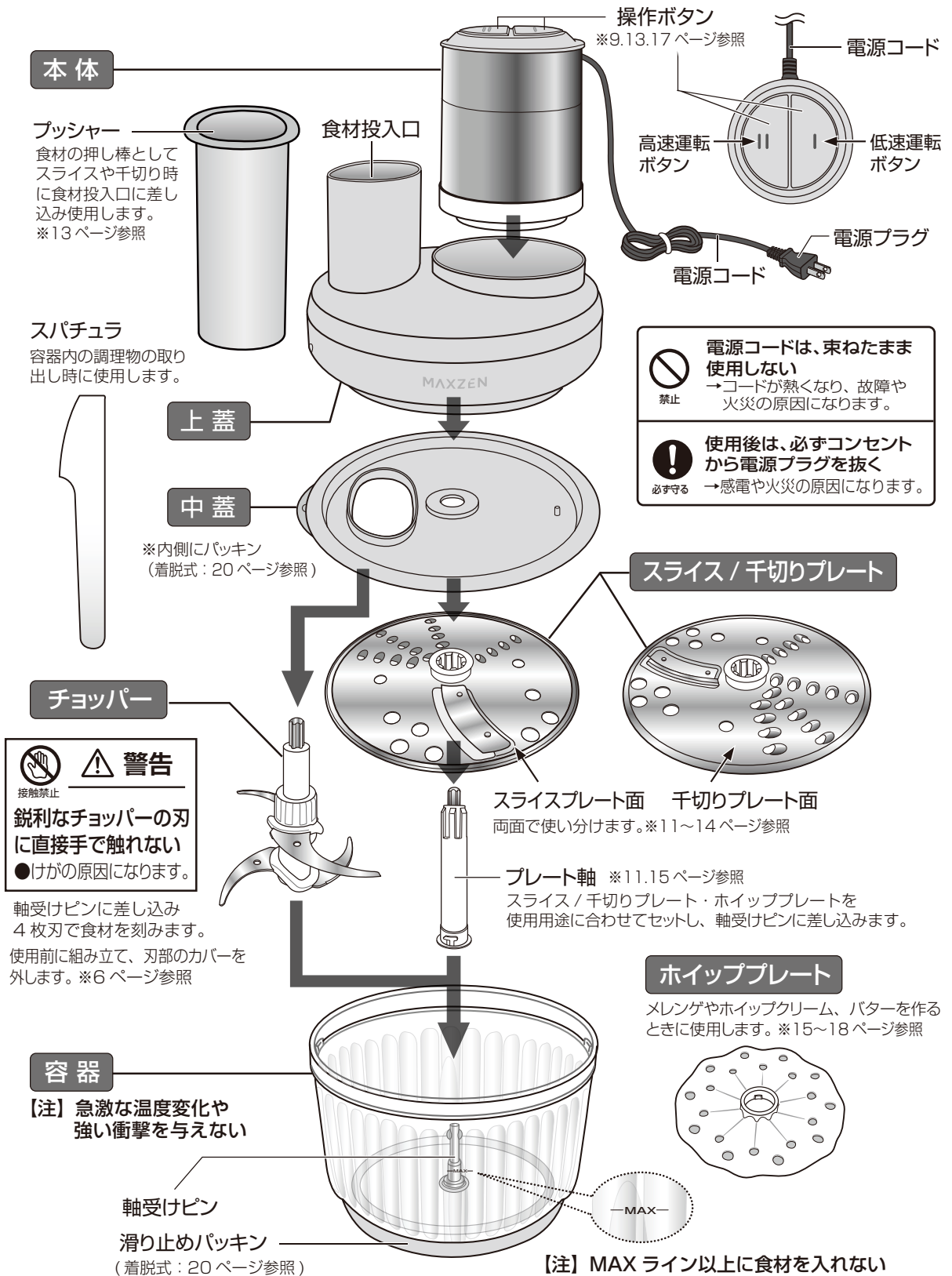


漬物や果物の缶詰めなど、水分に浸してある食材は、水分を切ってから調理してください。水分を一緒に調理すると、チョッパーの回転によって水分が飛び散り、本体の接続部に付着して内部に入り込み、故障の原因になる場合があります。
付着した場合は、必ず運転を止めてすぐに拭き取ってください。

樹脂部分の変色について

樹脂部分はカット時に、野菜類などの色素が付着して変色する可能性があります。使用上の問題はありません。
使用後は早めにお手入れすると比較的よく取れます。

各部のなまえ



チョッパーの組み立て・分解のしかた

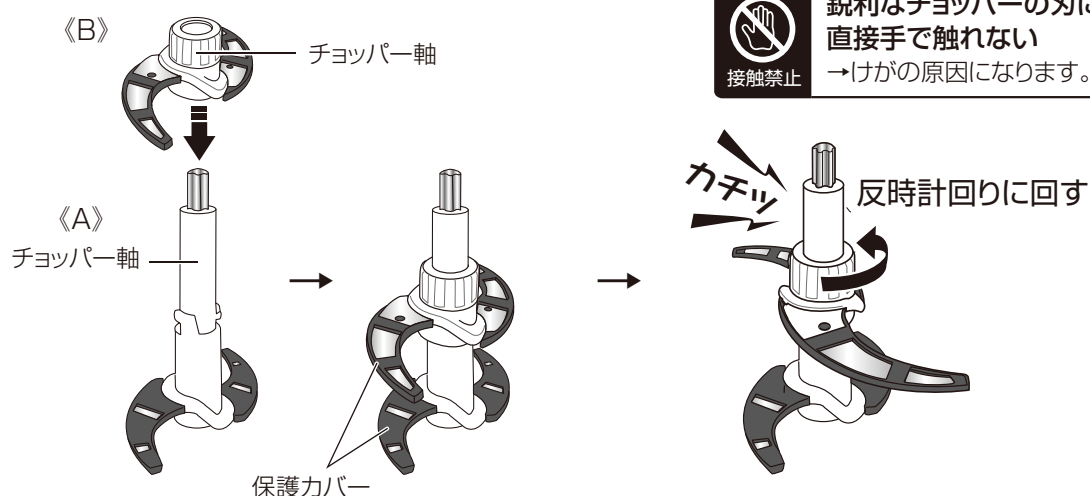
【重要】 チョッパーの刃部は梱包時 2 つに分解されておりますので、ご使用前に以下の注意に従って、けがのないように組み合わせてください。

- 組み立て・分解するときは、軍手や厚地のタオルなどを使って、両方の刃部をしっかりと覆っておこなってください。※布巾などの生地が薄いものは避けてください。

禁止 素手での作業はおやめください。

- ①《A》のチョッパー軸に《B》のチョッパーを差し込みます。
- ②《A》のチョッパー軸の下部をタオルで覆って手でしっかり持ち、もう一方の手で《B》のチョッパー軸を反時計回りに回すと、「カチッ」と音がしてロック完了です。

※二つの軸が回らないことを確認してください。



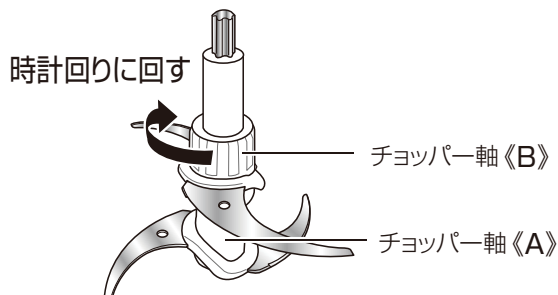
[チョッパーを分解する場合]

- 組み立て・分解するときは、軍手や厚地のタオルなどを使って、両方の刃部をしっかりと覆っておこなってください。※布巾などの生地が薄いものは避けてください。

禁止 素手での作業はおやめください。

鋭利なチョッパーの刃に直接手で触れない
→ けがの原因になります。
接触禁止

《A》のチョッパー軸の下部をタオルで覆って手でしっかり持ち、もう一方の手で《B》のチョッパー軸を時計回りに回すと、ロックが解除されて分解できます。



① 使いかた [チョッパー]

食材をみじん切りや、ペースト状にするときに使用します。

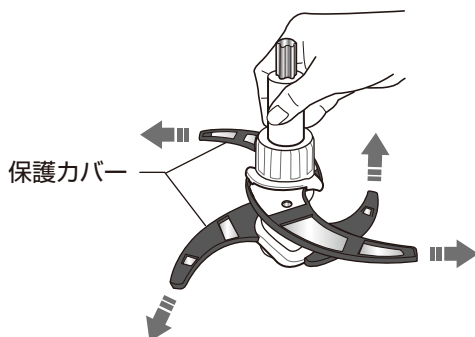
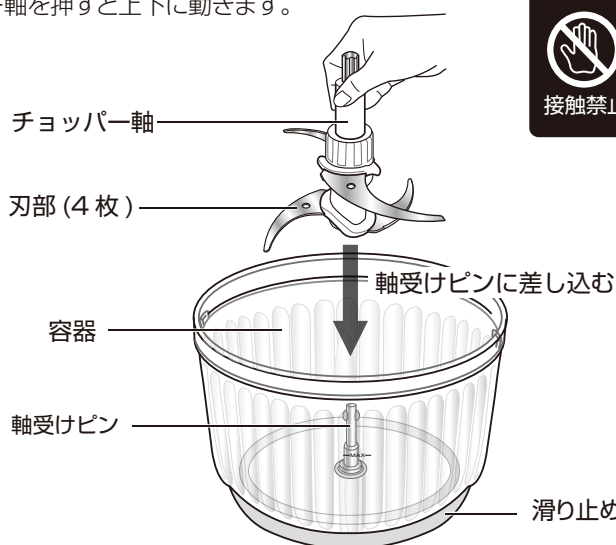
- 本体以外の各部品を水洗いしてください。
- 使用する食材を約 2cm 程度にカットします。

1 チョッパーを容器にセットする

- チョッパー軸の上部を持って、注意しながら刃部の保護カバーを取り外します。
(保護カバーは収納時に再使用します。)

- チョッパー軸の上部を持って、容器内の軸受けピンに差し込みます。

※ 上からチョッパー軸を押すと上下に動きます。



鋭利なチョッパーの刃に直接手で触れない
● けがの原因になります。

接触禁止

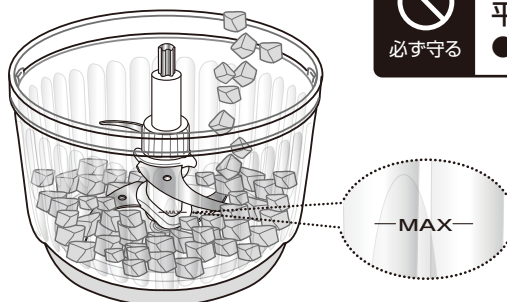
滑り止めパッキンを必ず装着して使用する

2 容器に食材を入れる

- MAX ライン以上に食材を入れないでください。
- 容器を軽くゆすって食材をできるだけ平らにならしてください。

野菜・果物・肉類などを入れて使用します。

4 ページの禁止材料・禁止条件を再度ご参照ください。



注意

チョッパー取付前に容器に食材を入れない

- チョッパーが浮いた状態になり運転できません。



必ず守る

容器内の食材を手で平らにならさない

- けがの原因になります。

3 中蓋・上蓋を容器にセットする

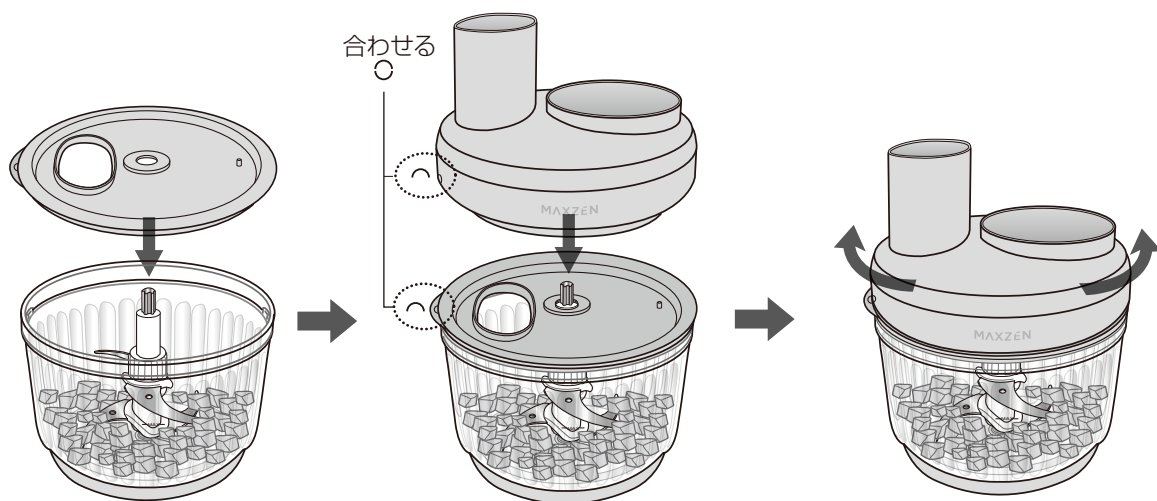
- 中蓋を容器に密着するようにセットします。

※軸の挿入部に食材が入っていると中蓋が浮き、正しくセットできません。

- 中蓋を容器に密着するようにセットし、中蓋の形状と上蓋の裏の形状、中蓋と上蓋の合い印「∩」を合わせて上蓋をセットします。

- 上蓋を左右に軽く動かし、正しくセットされていることを確認してください。

※正しくセットされていると回りません。



4 上蓋に本体をセットする

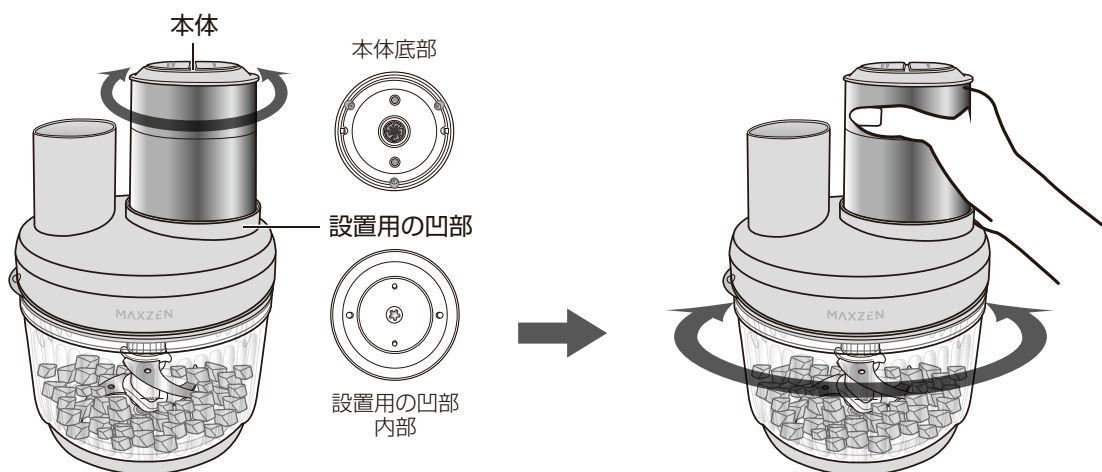


本体を取り付けるときは必ず
電源プラグをコンセントから抜く

- 設置用の凹部に本体をのせて、本体を軽く左右に回します。

※正しくセットされると本体は回らなくなります。

- 全てのセットが完了したら、本体を押さえて軽く左右に回し、全体が一緒に回るか確認してください。



正しくセットされていないと、安全装置が働き本体が動作しません。

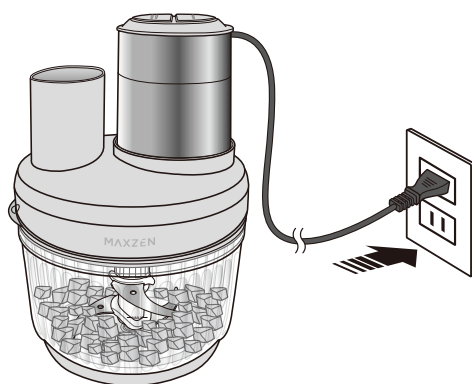
調理する

- 1 電源プラグを根元まで、確実にコンセントに差し込む



禁止

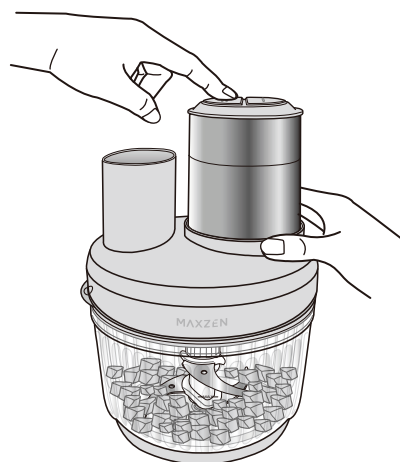
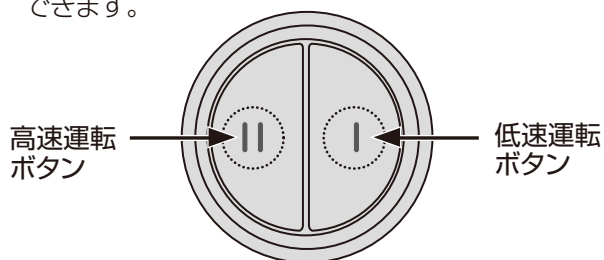
- 操作ボタンを押しながら、電源プラグを差し込まない
- 電源コードを束ねたまま使用しない



- 2 上蓋を手でしっかり押さえ、「高速(II)運転ボタン」を押して運転をはじめる

※運転ボタンを押している間だけ運転します。

※運転ボタンを押したり、離したりすることで間欠運転ができます。



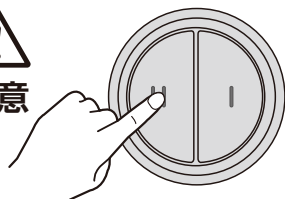
- 運転ボタンは、高速(II)と低速(I)がありますが通常、高速(II)で運転します。

- 玉ねぎなどの柔らかい食材のみの場合は、低速(I)で運転すると調理しやすくなります。

運転中は上蓋をしっかり押さえる



注意



運転ボタンを押すときは、(II)や(I)の表示部分を押してください。表示部分以外を押すと、運転しない場合があります。

※構造上きざみきれない食材が残ることがあります。



禁止

1分以上の連続運転はしない

定格時間：1分間



注意

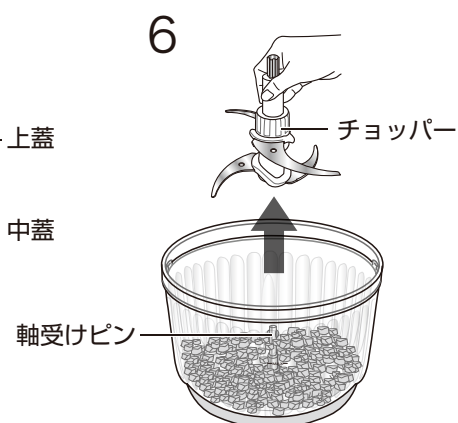
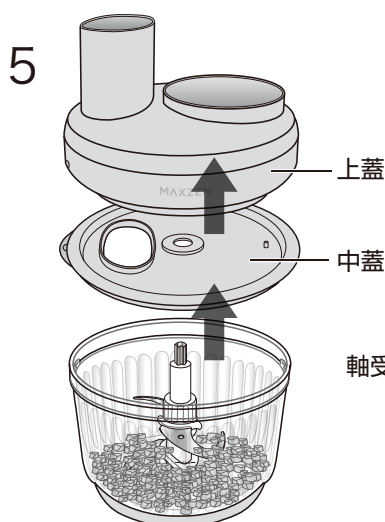
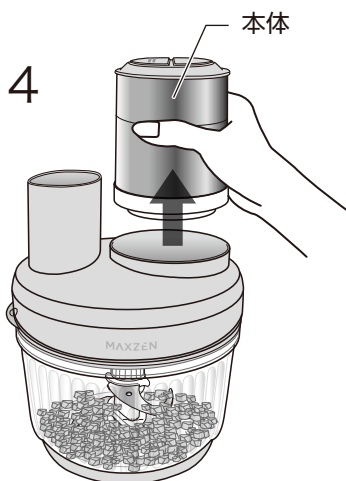
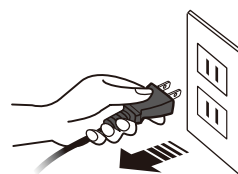
- 運転した時間の合計が1分になったら15分以上運転を休止させてください。15分以上休止させずに運転を続けると、モーターが過熱して故障や運転ができなくなる場合があります。
- 食材がチョッパーの刃に引っかかって運転が停止したときは、ただちに運転ボタンから手を離して運転を停止し、コンセントから電源プラグを抜き引っかかった食材を箸などで取り除いてください。無理に動かすと故障の原因になります。
- 漬物や果物の缶詰めなど、水分に浸してある食材は、水分を切ってから調理してください。水分と一緒に調理すると、チョッパーの回転によって水分が飛び散り、本体の接続部に付着して内部に入り込み、故障の原因になる場合があります。

3 調理が終わったら、電源プラグをコンセントから抜く

4 本体を持ち上げて上蓋から取り外す

5 上蓋と中蓋を容器から取り外す

6 チョッパー軸の上部を持ってチョッパーを軸受けピンから取り外す

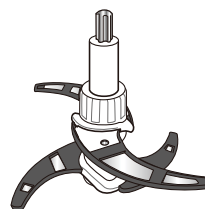


チョッパー軸の上部を持って
チョッパー刃に手をつけない

7 付属のスパチュラやスプーン、箸などを使って調理物を取り出す



- チョッパー使用後は 19.20 ページを参照してお手入れをおこなってください。使用しない場合は、必ず刃部に付属のカバーを装着してください。



注意

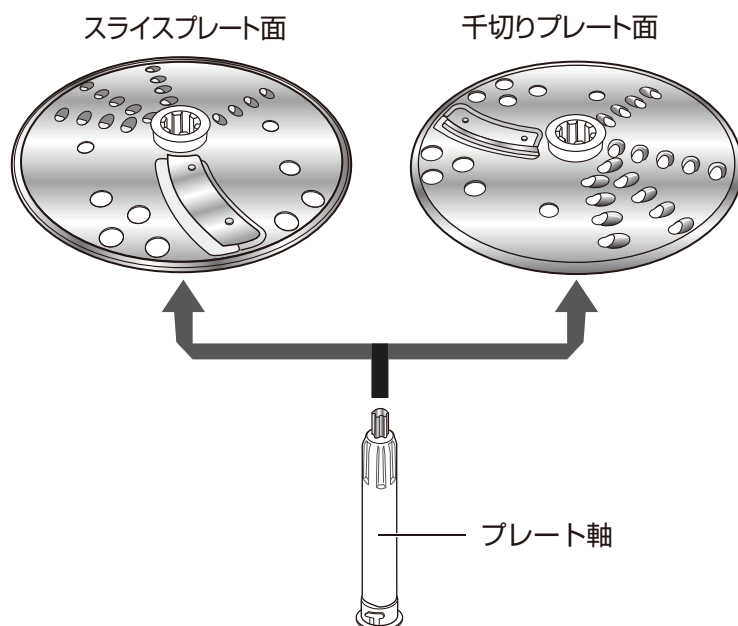
- 調理物を取り出す際は、必ずチョッパーを容器から取り出してからおこなってください。調理物などでチョッパーが取り出しにくいときは、付属のスパチュラやスプーンなどを使って調理物をよけてから取り外してください。指などでおこなうと、けがの原因になります。
- 食材によっては、食材の色素が内蓋などの樹脂部分に付着します。調理後はやめにお手入れすることをおすすめします。

② 使いかた [スライス / 千切りプレート]

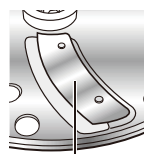
■ 本体以外の各部品を水洗いしてください。

1 プレート軸にスライス / 千切りプレートを差し込む

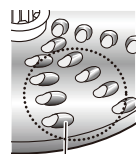
※ 調理の用途に合った面を上にして差し込んでください。



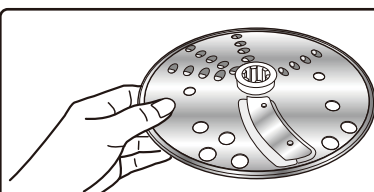
スライスプレート面 千切りプレート面



スライス刃が
凸になっている
面を上にする

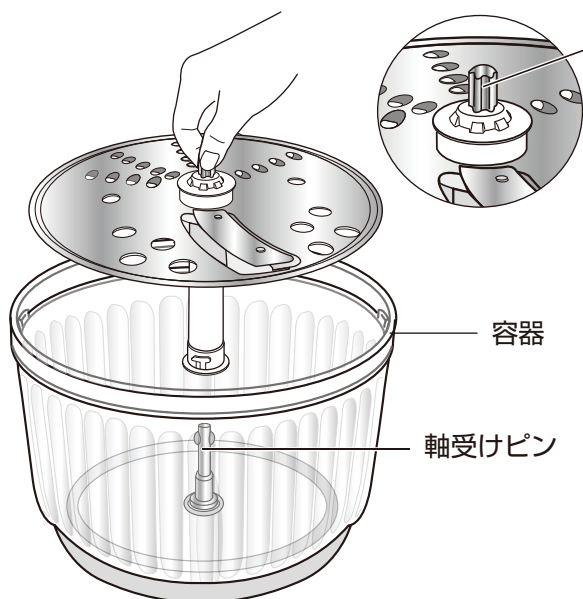


千切り刃が
凸になっている
面を上にする

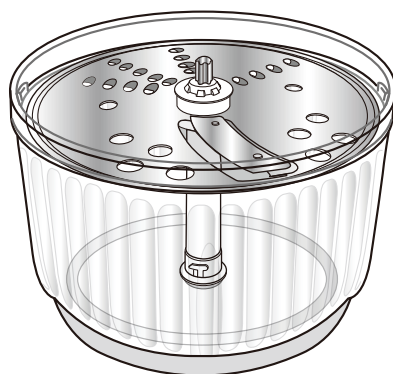


スライス / 千切りプレートを持つのときは、必ず刃部のない面をもってください。

2 容器内の軸受けピンにプレート軸をセットする



容器にセットする際は、プレート面を持たずに、プレート軸の先端を持ってください。



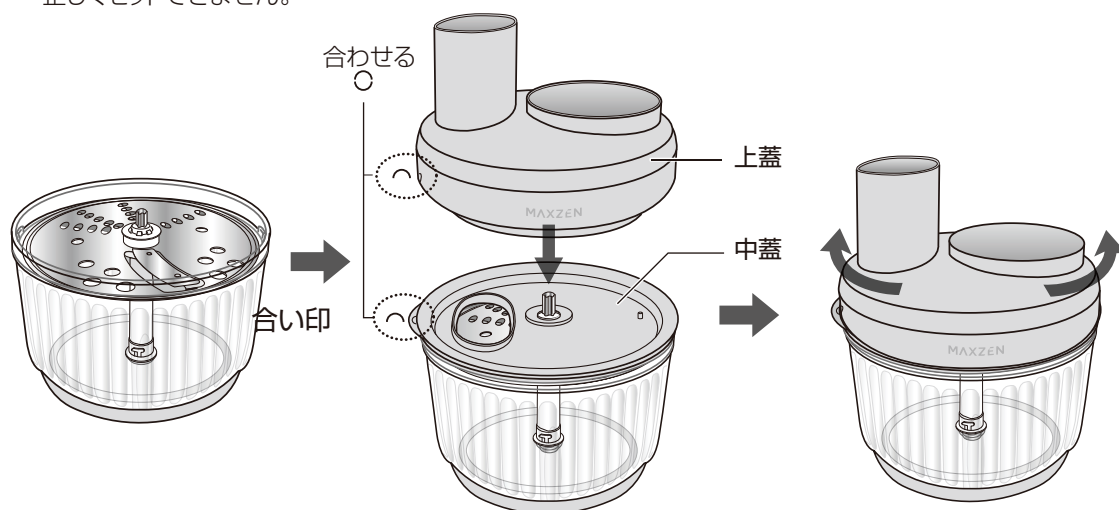
3 中蓋・上蓋を容器にセットする

- 中蓋を容器に密着するようにセットし、中蓋の形状と上蓋の裏の形状、中蓋と上蓋の合い印「へ」を合わせて上蓋をセットします。

※軸の挿入部に食材などが入っていると中蓋が浮き、正しくセットできません。

- 上蓋を左右に軽く動かし、正しくセットされていることを確認してください。

※正しくセットされていると回りません。



4 上蓋に本体をセットする

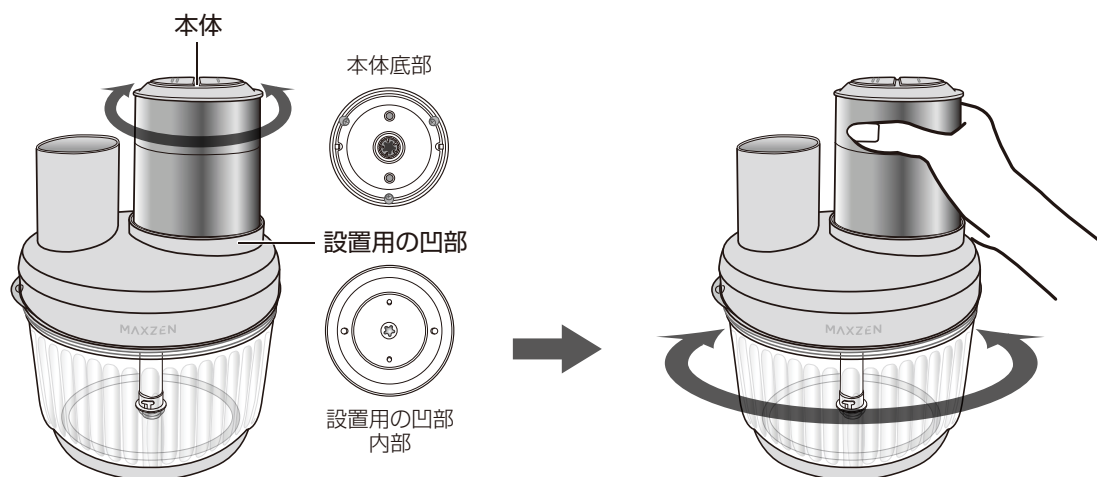


本体を取り付けるときは必ず
電源プラグをコンセントから抜く

- 設置用の凹部に本体をのせて、本体を軽く左右に回します。

※正しくセットされると本体は回らなくなります。

- 全てのセットが完了したら、本体を押さえて軽く左右に回し、全体が一緒に回るか確認してください。



正しくセットされていないと、安全装置が働き本体が動作しません。

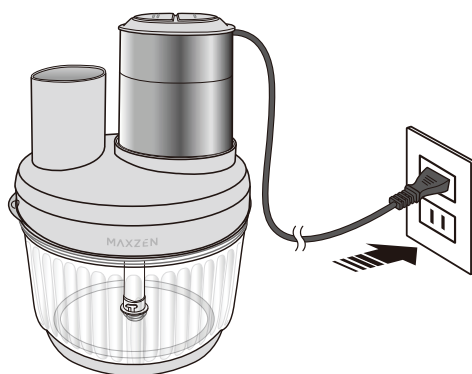
調理する

- 1 電源プラグを根元まで、確実にコンセントに差し込む



禁止

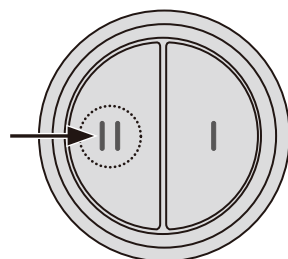
- 操作ボタンを押しながら、電源プラグを差し込まない
- 電源コードを束ねたまま使用しない



- 2 食材を投入口へ入れ、「高速(II)運転ボタン」を押して運転をはじめる

※運転ボタンを押している間だけ運転します。
※運転ボタンを押したり、離したりすることで
間欠運転ができます。

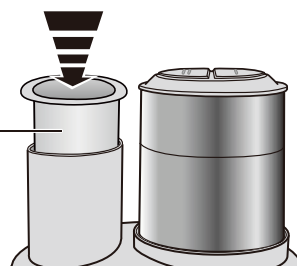
高速運転
ボタン



運転中は上蓋をしっかり押さえる

- 運転ボタンは、高速(II)と低速(I)がありますが通常、高速(II)で運転します。
- 玉ねぎなどの柔らかい食材のみの場合は、低速(I)で運転すると調理しやすくなります。

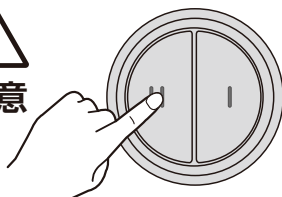
プッシャー



- 食材が残り少なくなってきたら、プッシャーを使用してください。



注意



運転ボタンを押すときは、(II)や(I)の表示部分を押しください。
表示部分以外を押すと、
運転しない場合があります。

※構造上きざみきれない食材が残ることがあります。



禁止

1分以上の連続運転はしない

定格時間：1分間

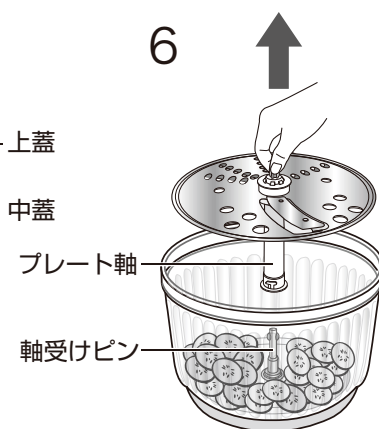
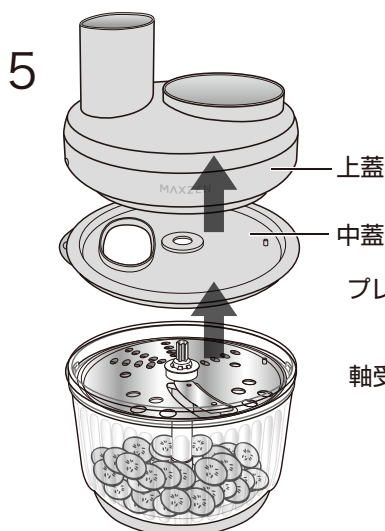
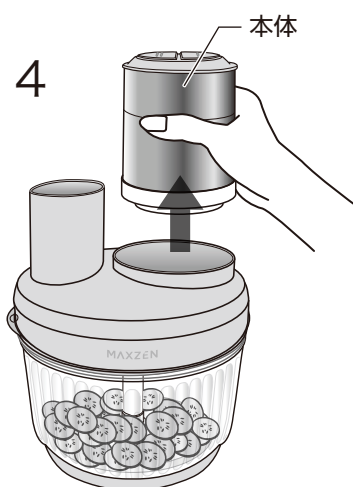
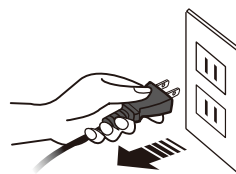
- 運転した時間の合計が1分になったら15分以上運転を休止させてください。15分以上休止させずに運転を続けると、モーターが過熱して故障や運転ができなくなる場合があります。

3 調理が終わったら、電源プラグをコンセントから抜く

4 本体を持ち上げて上蓋から取り外す

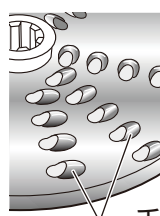
5 上蓋と中蓋を容器から取り外す

6 プレート軸の上部を持って、スライス / 千切りプレートを手受けピンから取り外し、容器から取り出す



プレート軸の上部を持って
スライス / 千切りプレートの
刃部に手をつけない

7 付属のスパチュラやスプーン、箸などを使って調理物を取り出す



【千切りをする場合】

スライス / 千切りプレートの
千切り刃が凸になっている面を
上にして、10.11.12. ページと
同じ手順でおこなってください。

千切り刃



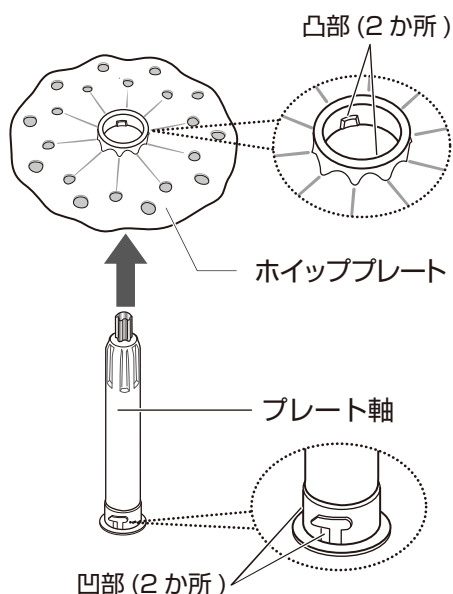
注意

- 調理物を容器から取り出す際は、付属のスパチュラやスプーンなどを使って調理物を取り外してください。
指などでおこなうと、けがの原因になります。
- 食材によっては、食材の色素が内蓋などの樹脂部分に付着します。調理後はやめにお手入れすることをおすすめします。

③ 使いかた [ホイッププレート]

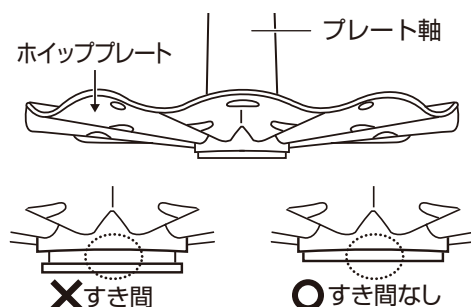
■ 本体以外の各部品を水洗いしてください。

1 プレート軸にホイッププレートを差し込む



① ホイッププレート中央の円内にある凸部 (2 か所) を下位置にして、ホイッププレートをプレート軸に差し込みます。

② プレート軸の下部にある凹部 (2 か所) と①の凸部 (2 か所) が噛み合うようにプレート軸を反時計回りに回します。両方がすき間なくかみ合うとプレート軸が抜けなくなりロック完了です。



※ 取り外す場合は、プレート軸を回してロックを解除します。

2 容器内の軸受けピンにプレート軸をセットする



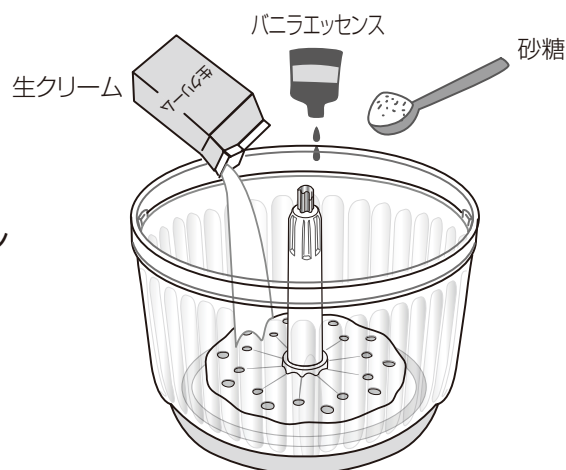
3 容器に、よく冷えた生クリームまたは卵白、お好みで砂糖・バニラエッセンスなどを投入する



注意

メレンゲ、生クリーム共に最低容量以上を入れて調理してください。

- メレンゲ：卵白 3～6 個まで
- 生クリーム：200～600ml まで
- バター：生クリーム 200～600ml まで



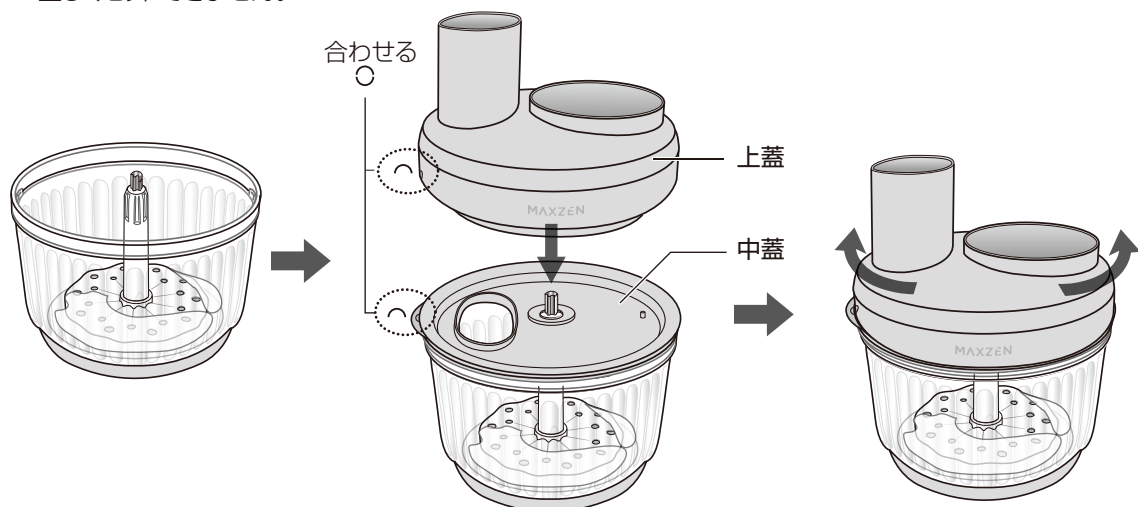
4 中蓋・上蓋を容器にセットする

- 中蓋を容器に密着するようにセットし、中蓋の形状と上蓋の裏の形状、中蓋と上蓋の合い印「∩」を合わせて上蓋をセットします。

※軸の挿入部に食材などが入っていると中蓋が浮き、正しくセットできません。

- 上蓋を左右に軽く動かし、正しくセットされていることを確認してください。

※正しくセットされていると回りません。



5 上蓋に本体をセットする

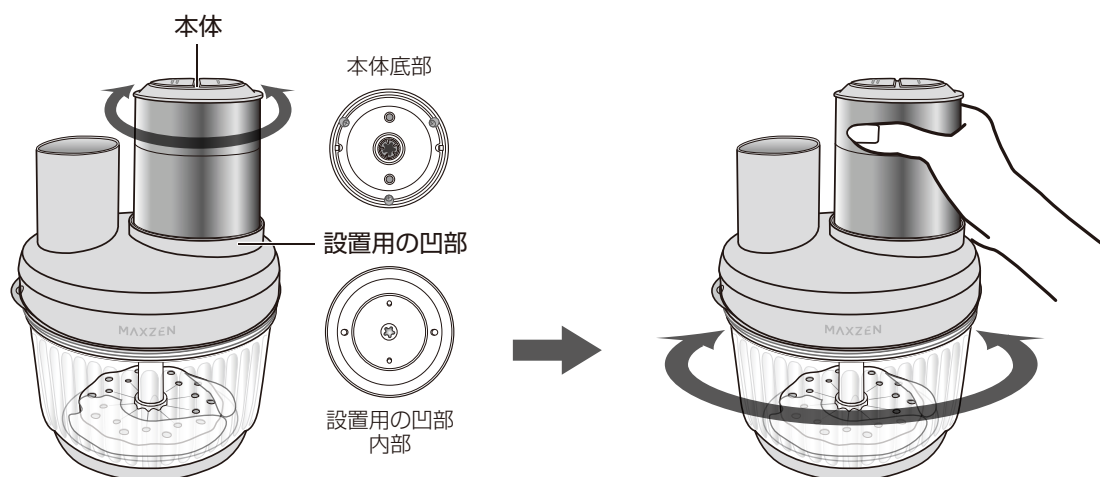


本体を取り付けるときは必ず
電源プラグをコンセントから抜く

- 設置用の凹部に本体をのせて、本体を軽く左右に回します。

※正しくセットされると本体は回らなくなります。

- 全てのセットが完了したら、本体を押さえて軽く左右に回し、全体と一緒に回るか確認してください。



正しくセットされていないと、安全装置が働き本体が動作しません。

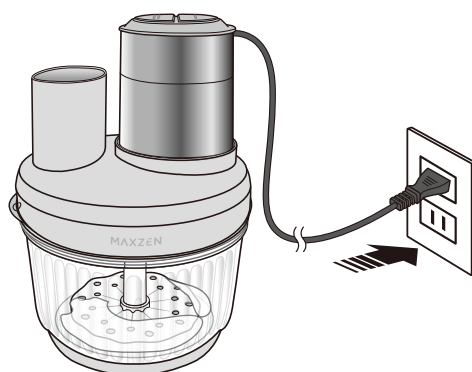
調理する

- 1 電源プラグを根元まで、確実にコンセントに差し込む



禁止

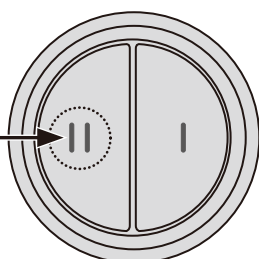
- 操作ボタンを押しながら、電源プラグを差し込まない
- 電源コードを束ねたまま使用しない



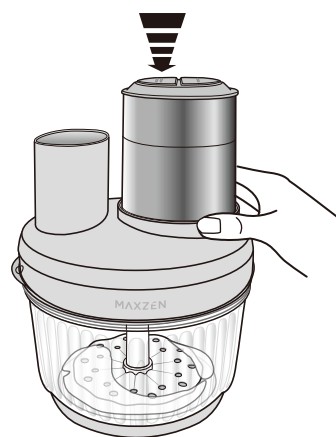
- 2 「高速(II)運転ボタン」を押して運転をはじめる

※運転ボタンを押している間だけ運転します。
※運転ボタンを押したり、離したりすることで
間欠運転ができます。

高速運転
ボタン



- 運転ボタンは、高速(II)と低速(I)がありますが
通常、高速(II)で運転します。



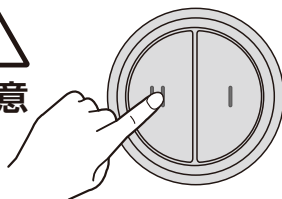
運転中は上蓋をしっかり押さえる

- 3 お好みのクリームの硬さになるように高速(II)と低速(I)のボタンで調整する

※生クリームは分離することがあります。必ず確認しながら調理してください。
※バターを作るときは、生クリームが分離するまで調理してください。



注意



運転ボタンを押すときは、
(II) や (I) の表示部分
を押してください。
表示部分以外を押すと、
運転しない場合があります。



禁止

2 分以上の連続運転はしない

定格時間：2 分間

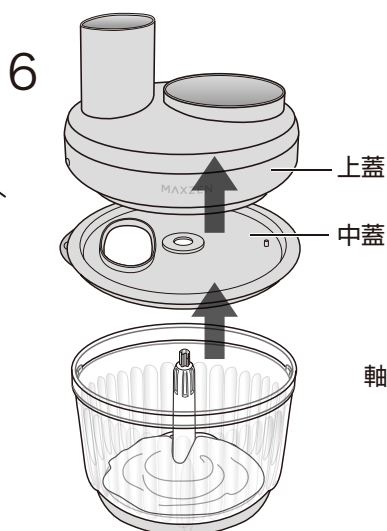
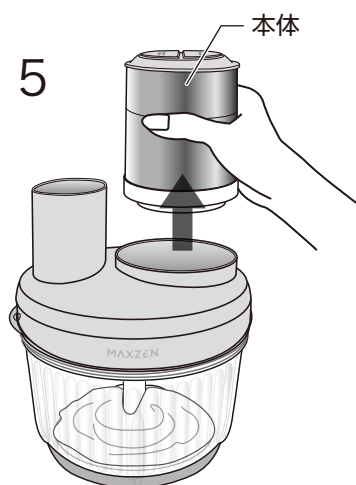
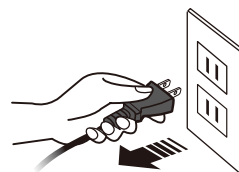
- 運転した時間の合計が1分になったら15分以上運転を休止させてください。15分以上休止させずに
運転を続けると、モーターが過熱して故障や運転ができなくなる場合があります。

4 調理が終わったら、電源プラグをコンセントから抜く

5 本体を持ち上げて上蓋から取り外す

6 上蓋と中蓋を容器から取り外す

7 プレート軸の上部を持って、ホイッププレートと軸受けピンを取り外し、容器から取り出す



プレート軸の上部を持って
取り出す

8 付属のスパチュラやスプーンなどを使って
クリームをボウルなどに取り出す



注意

- 調理物を容器から取り出す際は、付属のスパチュラやスプーンなど使って調理物を取り外してください。
指などでおこなうと、けがの原因になります。
- 食材によっては、食材の色素が内蓋などの樹脂部分に付着します。調理後はやめにお手入れすることをおすすめします。

お手入れのしかた

- 各部品の取り外しのときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 本体を除く全ての部品は、丸洗いできます。
使用後は毎回、必ずお手入れをして、清潔な状態でご使用ください。
- お手入れをする前に各部品を取り外してください。



必ずお守りください

本体は丸洗いや、水に浸けたり、水をかけたりしない

- けが防止のためゴム手袋を着用してください。
- 容器や蓋などの各種部品（付属品）を食器洗い乾燥器で洗ったり、食器乾燥機で乾燥させないでください。
- 50℃以上のお湯で洗わないでください。
- 台所用中性洗剤で洗ったあとは、洗剤が残らないように十分洗い流してください。
- シンナー・ベンジン・漂白剤・みがき粉・たわしやスポンジの研磨面を使用しないでください。



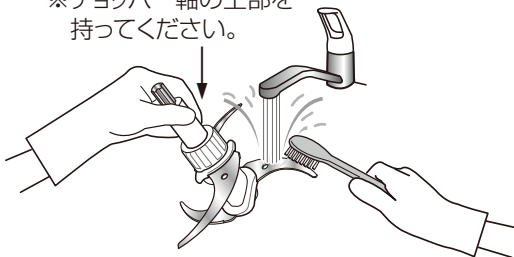
本体 水洗いはできません

- 乾いた柔らかい布で、表面についた液体や汚れをやさしく拭き取ります。
※落ちにくい汚れは、柔らかい布に中性洗剤を薄めた水をつけて拭き取ってください。
その後、洗剤や水分が残らないように全体を乾いた布できれいに拭きます。
- 電源プラグの汚れやホコリは、乾いた布で定期的に拭き取ります。

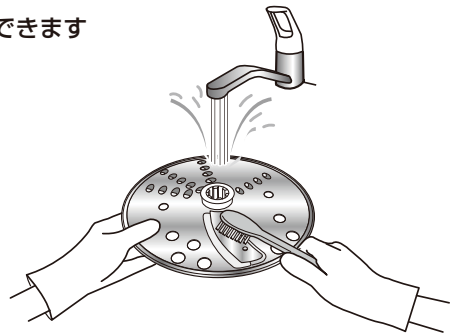
スライス / 千切りプレート・チョッパー 水洗いできます

- けが防止のためゴム手袋を着用してください。
- 台所用中性洗剤をブラシに数滴つけて水洗いし、付着した調理物をしっかり落とします。
- 洗剤が残らないように水洗いし、よく乾燥させます。

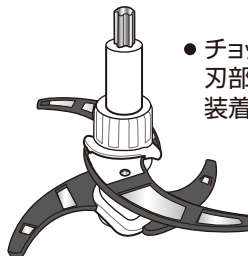
※チョッパー軸の上部を持ってください。



- チョッパーを分解して洗う場合は、6 ページを参照してけがのないように注意しておこなってください。



- スライス / 千切りプレートを持つときは、必ず刃部のない面をもってください。



- チョッパー収納時は、必ず刃部に付属のカバーを装着してください。



警告



接触禁止

鋭利なチョッパーの刃に直接手で触れない

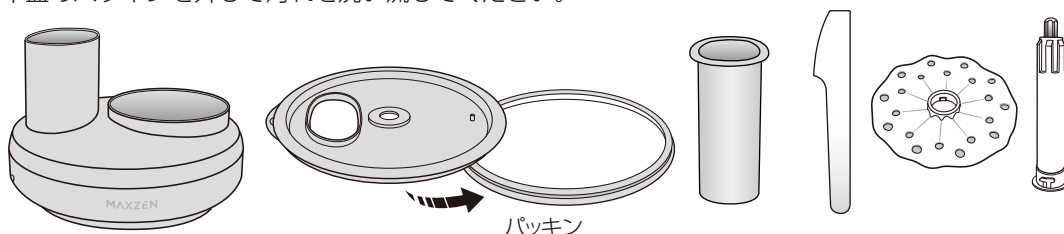
- けがの原因になります。

上蓋・中蓋・プッシャー・スパチュラ・ホイッププレート・プレート軸

水洗いできます

●台所用中性洗剤と柔らかいスポンジなどを使って水洗いします。洗ったあとは、十分乾燥させます。

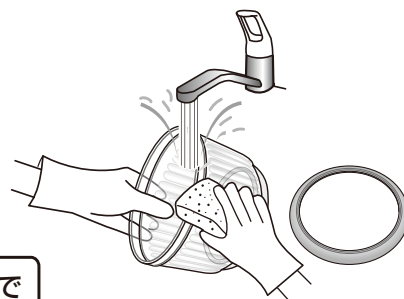
※中蓋のパッキンを外して汚れを洗い流してください。



容器

水洗いできます

●容器を逆さまにして、滑り止めパッキンを外し、
台所用中性洗剤と柔らかいスポンジなどを使って水洗いします。
洗ったあとは、十分乾燥させます。



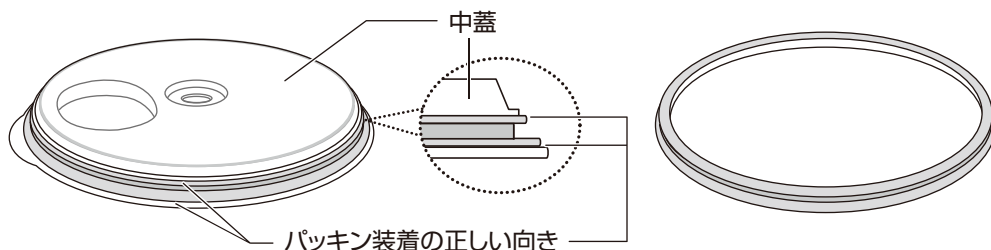
容器や蓋などの各種部品（付属品）を食器洗い乾燥器で
洗ったり、食器乾燥機で乾燥させない
→変色・変形・破損の原因になります。

■中蓋のパッキンの外し方・取り付け方

●パッキンの一方を引っ張って外します。
お手入れ後は必ず、中蓋の形状に合わせて
確実に取りつけてください。



パッキンは、必ず正しく取りつける
→向きが逆の場合、容器と密着せずに
調理物が漏れる原因になります。



■容器のパッキンの外し方

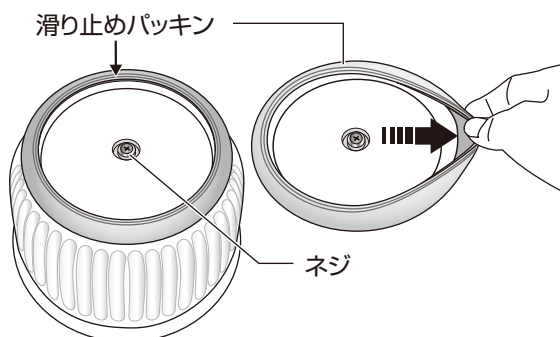
●容器を逆さまにして、滑り止めパッキンの一方を
引っ張って外します。お手入れ後は必ず、容器の
底の形状に合わせて確実に取りつけてください。



容器底のネジをゆるめたり取り外さない
→調理物が漏れたり、振動する原因になります。

滑り止めパッキンは、必ず正しく取りつける

→つけ忘れと容器が滑り、破損・けがの原因になります。



故障かな？と思ったら

●修理を依頼される前に、再度取扱説明書をお読みになり次の事項をチェックしてください。



警告

お客様ご自身で修理、改造することは絶対にしないでください。

症 状	対処方法
電源が入らない 運転が始まらない	●コンセントに電源プラグが確実に差し込まれていますか？ → 電源プラグを根元まで確実に差し込んでください。 ●本体が上蓋に正しくセットされていますか？ → 確実に取り付けてください。(7 ページ参照) ●1分以上の運転や、約15分以上運転を休止させていますか？ → モーターが過熱して故障や運転ができなくなる場合があります。(9 ページ参照)
回転が遅く、うなる ような運転音がする 運転中に停止する	●食材が大きすぎたり、多すぎいませんか？ → 食材を小さくしたり、量を減らしてください。 ●調理禁止食材を調理してはいませんか？ → 4 ページを参照して、禁止食材を取り除いてください。 ●食材が引っかかっていますか？ →引っかかった食材を取り除いてください。
調理物が漏れる	●中蓋が正しく取り付けられていますか？ → 中蓋を確実に取り付けてください。(8.12.16 ページ参照) ●中蓋のパッキンが正しく取り付けられていますか？ → 正しく取り付けてください。(20 ページ参照) ●中蓋やパッキン周辺に異物が付着していませんか？ → お手入れをしてください。(20 ページ参照)
振動が大きい	●部品（チョッパー・スライス / 千切りプレート・軸受けピン・プレート軸など）に変形や破損がありませんか？ →問題があったときは、お買い上げの販売店または弊社お客様サポートセンターにご相談ください
蓋などの樹脂部分 に変色やひび割れ がある	●柑橘類の皮などを調理していませんか？ →柑橘類の皮（リモネン成分を含むもの）を調理すると、樹脂部分の変色やひび割れの原因になります。 ※お買い上げの販売店または弊社お客様サポートセンターにご相談ください ●樹脂部分に、食材や調理物を付着させたまま長時間放置していませんか？ →調理後は、できるだけ早くお手入れをしてください。
ホイッププレートで メレンゲやホイップ クリームができない	●最低容量を下回っていませんか？ →食材が少なすぎると、調理できません。 ●食材が冷えていますか？ →食材がぬるくなっていると、泡立ちにくくなります。冷やして調理してください。

製品仕様

定 格 電 圧：AC100V

定 格 周 波 数：50/60Hz

定 格 消 費 電 力：300W

モ ー ド：スライス、みじん切り、千切り、ペースト、ホイップ

定 格 時 間：チョッパー・スライス／千切りプレート：約1分間、
ホイッププレート：約2分間

最大調理容量：約800g（チョッパー、スライス／千切りプレート使用の場合）

本 体 重 量：約2.2kg

本 体 サ イ ズ：約(幅) 18.5×(奥行) 17.9×(高さ) 27.2mm

コ ー ド 長：約1.4m

付 属 品：中蓋、スライス／千切りプレート、チョッパー、プレート軸、
ホイッププレート、スパチュラ、プッシャー

原 産 国：中国

保管のしかた

- 長期間保管される場合は、本体の汚れをしっかりと拭き取り、水気が残らないように十分乾燥させてください。
- 袋に入れ、購入時に入っていた箱などに入れて、直射日光の当たらない、高温多湿を避けた結露しない場所で保管してください。
- 振動のある場所や、冷暖房機のそばは避けてください。
- 子供や幼児の手の届かないところで保管してください。

廃棄のしかた

- 自治体のゴミの廃棄方法に従って廃棄してください。

輸入元：MARUTAKA（株式会社 丸隆）

〒151-0073 東京都渋谷区笹塚 1-62-3

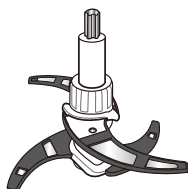
《お客様サポートセンター》TEL 0120-104-300

受付時間 10：00～17：00（土・日・祝日を除く）

お問い合わせの際には、製品名・品番をお伝えください。

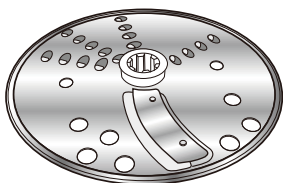
別売品

チョッパー



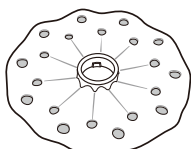
販売価格：1,650円（税込・送料別）

スライス/千切りプレート



販売価格：1,650円（税込・送料別）

ホイッププレート



販売価格：1,100円（税込・送料別）

●お求めは弊社お客様サポートセンターをお願いします。

株式会社 丸隆

《お客様サポートセンター》TEL 0120-104-300

受付時間 10:00~17:00（土・日・祝日を除く）

お問い合わせの際には、製品名・品番をお伝えください。